

アライグマ

箱わな設置アドバイス



アライグマ被害防除研修会資料

大村市鳥獣被害対策協議会



写真① 平成24年度に市の鳥獣捕獲員がアライグマを捕獲した黒木町の北川内

箱わな設置のポイント

- ① アライグマがいる場所に設置することが大事。
- ② イノシシの箱わなの様には気を遣わなくてもよい。
- ③ 適切な餌があれば餌に誘引されます。

この場所は写真ではよくわかりませんが、箱わなの左手には沢があります。アライグマだけに限らず、餌場と水場が近くにあるところが統計上適しています。具体的には水があり、アライグマが好む餌であるサワガニが豊富にいること、それに加えイノシシ用の箱わなの餌を食べる中型の哺乳類がいたり、近くで中型哺乳類による農作物被害があることです。



写真② 捕獲場所の選定

- ① 沢などの水がある場所をアライグマは好みます。
- ② サワガニも餌として好みます。
- ③ この場所は近くにイノシシの箱わなを設置しましたが、餌をとる中型動物いました。
- ④ 獣の通り道がありました。
- ⑤ これらのことから、この場所に中型動物用の箱わなを設置しました。

ここの箱わなの左手にも水路があることがわかります。餌があり、水が豊富にあります。アライグマの好む環境と考えていいと思います。



写真③ 箱わなの設置の仕方

- ① 地面を水平に均す。
- ② 箱わなには下にビニールシートを敷き、サワガニやモグラ対策とし、箱わな脱走防止に鉄筋で固定しています。
- ③ 周りに少々大き目な石を置き囲います。大き目なのはアライグマは小石なら簡単に動かし、箱わなの枠の間から手を伸ばし、餌を取ってしまうからです。
- ④ 最後に鉄筋を刺して固定する。

※注意



写真④

こちらは杉林です。意外なようですが、杉林はアライグマの餌になるサワガニが豊富です。アライグマが好む水と餌のある場所のひとつです。

固定の様子

アライグマは、箱わなから手足を出して箱わなごと移動することがあります。イメージは、ぶんぶく茶釜のタヌキを思い浮かべたら分かりやすいと思います。そのため、わなを固定しないと何メートルも移動する可能性があります。

※遺失及び事故防止のために鉄筋での固定は必要です



写真⑤

固定の様子

写真④⑤のどちらも鉄筋で固定しています。しっかり固定していると、捕獲した動物が暴れても箱わなが揺れにくいので、ストッパーが外れにくい逃げられにくくなります。また、この鉄筋は捕獲後は箱わなのフタ部分を固定するのにも使えて大変便利です。

※要注意※
捕獲したアライグマを移動する場合は、アライグマの手先で身体を傷つけられないように身体から離して持ち運ぶようにしてください。



アニマルトラップ1092型

アニマルトラップ1089型

←
アニマルトラップ1089型は、アライグマ対策として“パワーフレームプロ”という補強用の金具を取り付けています。

箱わなについて

大村市が、所有する中型哺乳類用の箱わなは、アニマルトラップの1092型と1089型があります。動物を捕獲後は、固定用の鉄筋を用いて、横から差し込みフタが開かないように固定します。捕獲動物を移動する際も、フタが開く心配がなく安全です。

- 1092型はワンタッチで設置が簡単ですが、ストッパーが振動で外れやすく、力が強いアライグマには不向きです。
- 1089型はストッパーの外し方や設置が少し面倒ですが、多少の振動では簡単には外れません、アライグマ・アナグマ向けです。

《餌について》

*アライグマは雑食性なので、餌は果実や昆虫、カニなど何でも良い。

具体的に

キャラメル味のコーン菓子など（年中入手が簡単です）

トウモロコシ圧ペン（イノシシの餌にもなる）など大村市でも使っています。

※キャットフードやドッグフードでは猫などを誤捕獲することがあるので、望ましくない。

《箱罠設置の時間(期間)》

*アライグマは年に3～6頭の子を産みます。

一度捕獲した場所で4～5頭は捕れる可能性がありますので、引き続き根気強く設置を試みて下さい。

また、最後に設置してからひと月以上餌が採られなかったり、アライグマが罠にかからなくなったら場所替えの目安です。

《処分方法》

*大村市では、炭酸ガスや電気ショッカー等を使用しています。

捕獲隊などの方は、機材があれば電気ショッカーも選択のひとつです。

アライグマ捕獲許可従事者は、個体確認の必要がありますので、処分に関して大村市までご連絡ください。



処分方法のポイント！

電気ショッカーの場合は、アライグマの体に水をかけてアースが良く効く様にします。

処分の際は、アライグマが暴れて逃げ出さない様に、箱わなのフタの所に鉄筋を刺しておくで安心です。

～時間の目安～

電気……1分～2分

炭酸ガス……5分～10分

あくまでも、この時間は目安です。どの処分方法でも、個体の大きさで異なります。知識として、参考程度に留めておいてください。